

教材名：ちいさないのち

主題名：いのちってすごい

内容項目：D (17) 生命の尊さ

1 **ねらい** 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとする心情を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

① 自分の心臓の音を聞いてみましょう。

- ・どっくんどっくん、って聞こえる
- ・お母さんのおなかにいたときから動いている心臓、すごいなあ

◇ 教材を読んで話し合う。

② さとさんは、1 cm位の時から心臓ができていると知ってどう思ったでしょう。
(映像資料の赤ちゃんの写真とエコー写真を視聴する)

- ・こんなに小さい時から心臓ができ動いているなんて、すごいなあ
- ・こんなに小さくても、生きているんだな
- ・びっくりだ

③ さとさんは、お母さんからの手紙を読んで、どう思いましたか。

- ・お母さんが、私の命を守ってくれていたんだな
- ・お母さんも大切に覚えていてくれて嬉しい
- ・いのちって、こんなに小さいのに、どんどん大きくなっていくのがすごい
- ・いのちがお母さんに守られて、止まらずに動いて生まれてくるのがすごい

◇ 自分との関わりで考える。

④ 今、いのちがあるからこそできることって何でしょう。

- ・ごはんを食べること
- ・遊ぶこと
- ・勉強すること
- ・学校に来ること
- ・生きているからいろんなことができるんだ、生命を大切にしたいな

◇ 映像資料（インタビュー）を視聴する。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・おなかの中の赤ちゃんの心臓の小ささやたくましさを実感するために、直径1 cmの円の中に点（心臓の大きさ）を書いたり映像資料を視聴したりする活動を入れる。
- ・お母さんの感動から「いのちのすごさ」について一人一人に思いを持たせるとよい。
- ・展開後段では、P 27～28を見て、身の回りのいろいろな生き物の生命や成長について関心を持たせる展開も考えられる。
- ・終末は、「わたしたちの道徳」P 100～101（『手のひらを太陽に』）から、歌を歌ったり、音読したりすること、また家の人からの手紙を読むこと、GT（保護者や助産師さん）のお話を聞くことなどが考えられる。児童の実態に合わせて設定するとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「10 ちいさな いのち」

10 B案

教材名：ちいさないのち

主題名：いのちってすごい

内容項目：D（17）生命の尊さ

1 **ねらい** 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとする心情を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 教材への興味関心を高める。

① 生まれる前の自分について知っていますか。

- ・お母さんから聞いたことがあるよ
- ・あまりよく分からないよ

◇ 教材を読んで話し合う。

② さとさんは、1 cm位の時から心臓ができていると知ってどう思ったでしょう。

（映像資料の赤ちゃんの写真とエコー写真を視聴する）

- ・こんなに小さい時から心臓ができて動いているなんて、すごいなあ
- ・こんなに小さくても、生きているんだな
- ・びっくりだ

③ お母さんの話（教材文や映像資料インタビュー）から、どうしていのちがすごいのか考えましょう。

- ・こんなに小さいのに、どんどん大きくなっていくのがすごいし、ふしぎだ
- ・お母さんが守ってくれたからだ
- ・おばあちゃんからずっとつながっているからすごい
- ・いろんな人が大事にしてくれるからすごい
- ・いのちはこんなにすごいものだから、大事なんだよ

◇ 自分との関わりで考える。

④ いのちを守り、つないできてくれた家族になんと言いたいですか。

- ・産んでくれてありがとう
- ・いのちを守りながら育ててくれてありがとう
- ・私も、自分のいのちを大事にするね
- ・私も、命をつなげていきたいな

◇ 絵本を読み聞かせる。

（命のつながりについてかかれた本 例『いのちのまつり』）

3 指導上の留意点及び工夫

- ・おなかの中の赤ちゃんの心臓の小ささやたくましさを実感するために、直径1 cmの円の中に点（心臓の大きさ）を書いたり映像資料を視聴したりする活動を入れる。
- ・展開後段では、P 27「たった一つの大切ないのち」を見て、身の回りのいろいろな生き物の命や成長について関心を持たせる展開も考えられる。
- ・終末は、家の人からの手紙を読むこと、G T（保護者や助産師さん）のお話を聞くことなどが考えられる。児童の実態に合わせて設定するとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「10 ちいさな いのち」